

2026年1月30日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

中小企業景況調査(2026年1月)要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは低下
売上げ見通しDIも低下

1 売上げ

2026年1月の売上げDIは、12月から10.8ポイント低下し、▲9.9となった。

今後3カ月(1月～3月)の売上げ見通しDIは、12月から0.7ポイント低下し、0.2となった。

2 利益

利益額DIは、12月から6.4ポイント低下し、▲4.1となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、12月から1.8ポイント上昇し、10.0となった。

仕入価格DIは、12月から1.9ポイント低下し、20.8となった。

従業員判断DIは、12月から2.4ポイント低下し、10.3となった。

生産設備判断DIは、12月からマイナス幅が5.6ポイント拡大し、▲9.8となった。

＜調査の要領＞	調査時点	2026年1月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏451社、中京圏143社、近畿圏306社) 業種構成: 製造業607社、建設業82社、運輸業54社、卸売業157社
	有効回答企業数	563社
	回答率	62.6%

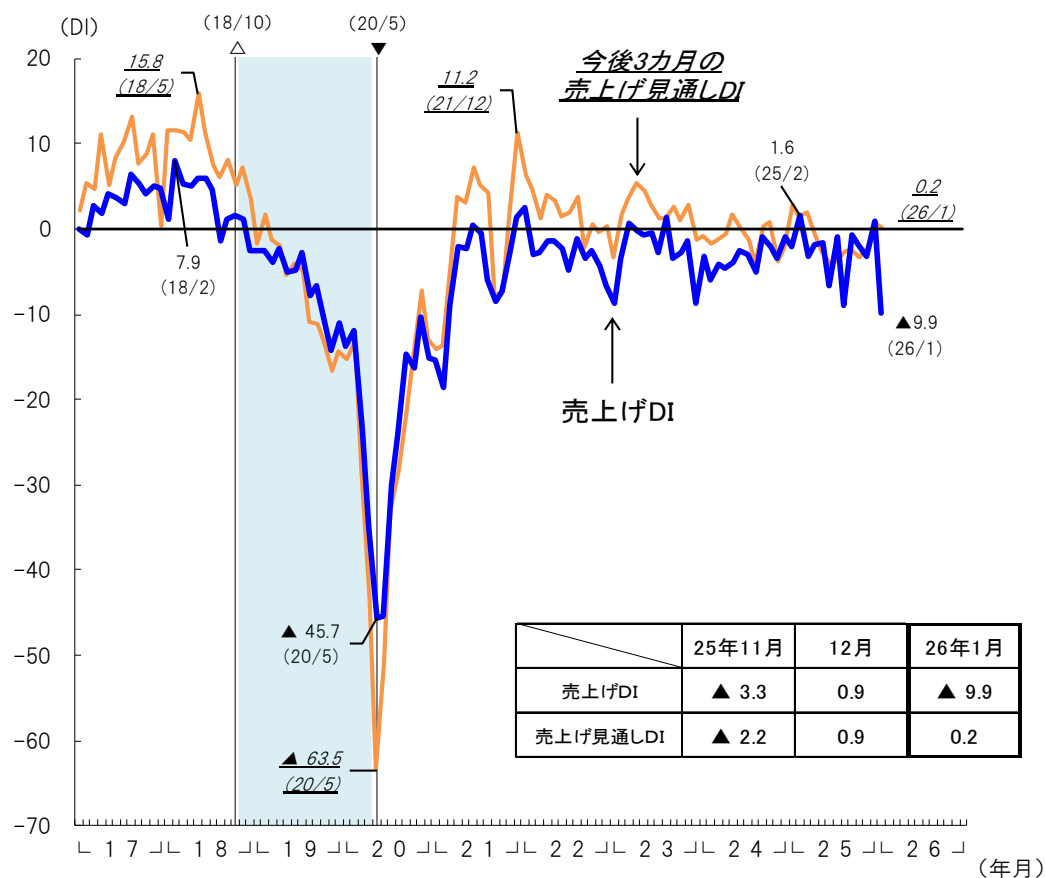
＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704 (担当:片山、葛貫)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

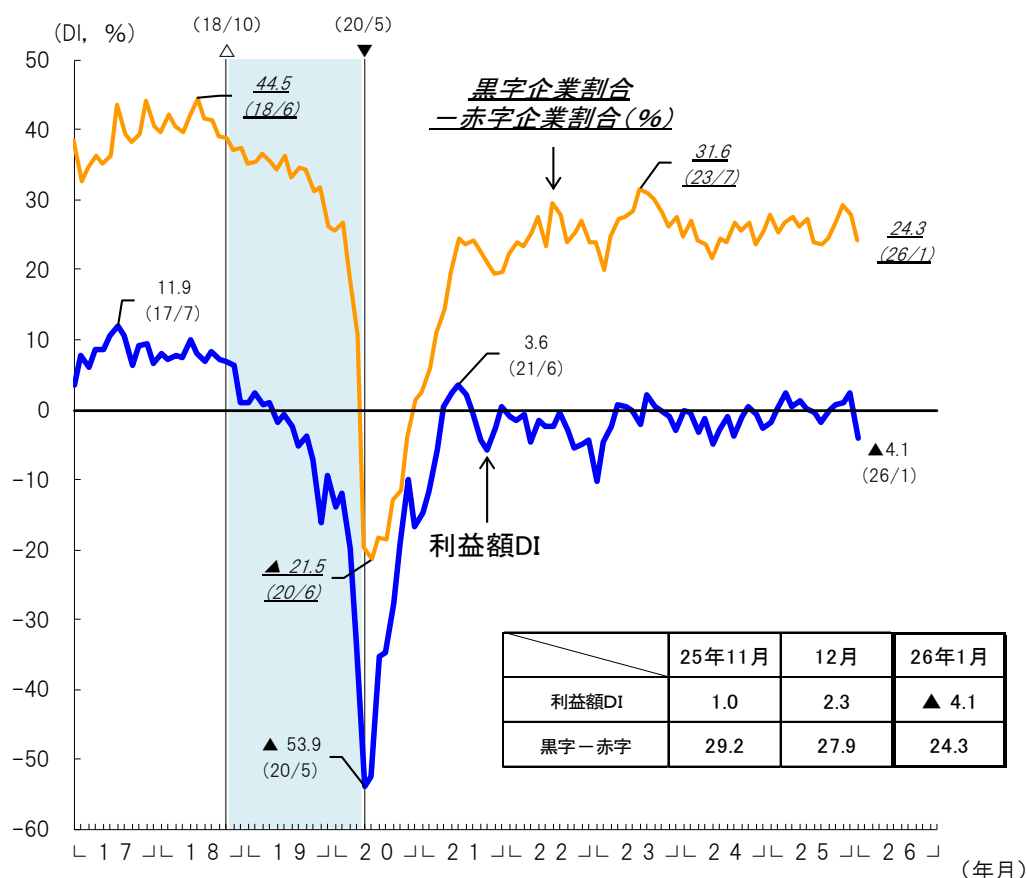
- 売上げDI(「増加」－「減少」)は、12月から10.8ポイント低下し、▲9.9となった。
- 売上げ見通しDI(「増加」－「減少」)は、12月から0.7ポイント低下し、0.2となった。
- 利益額DI(「増加」－「減少」)は、12月から6.4ポイント低下し、▲4.1となった。
- 黒字企業割合－赤字企業割合は、12月から3.6ポイント低下し、24.3となった。

図－１ 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」－「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」－「減少」企業割合(季節調整値)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。
 4 今月調査において、季節調整値の改訂を実施した(以下同じ)。

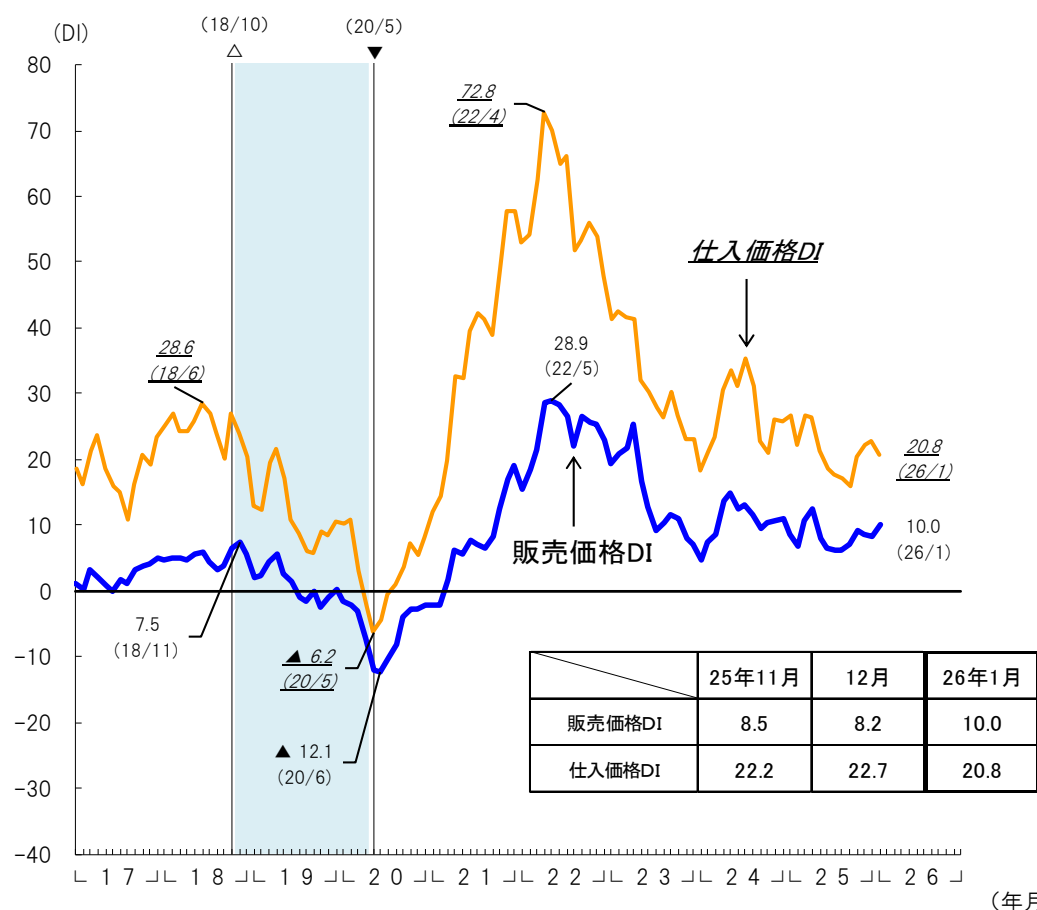
図－２ 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」－「減少」企業割合(季節調整値)。
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

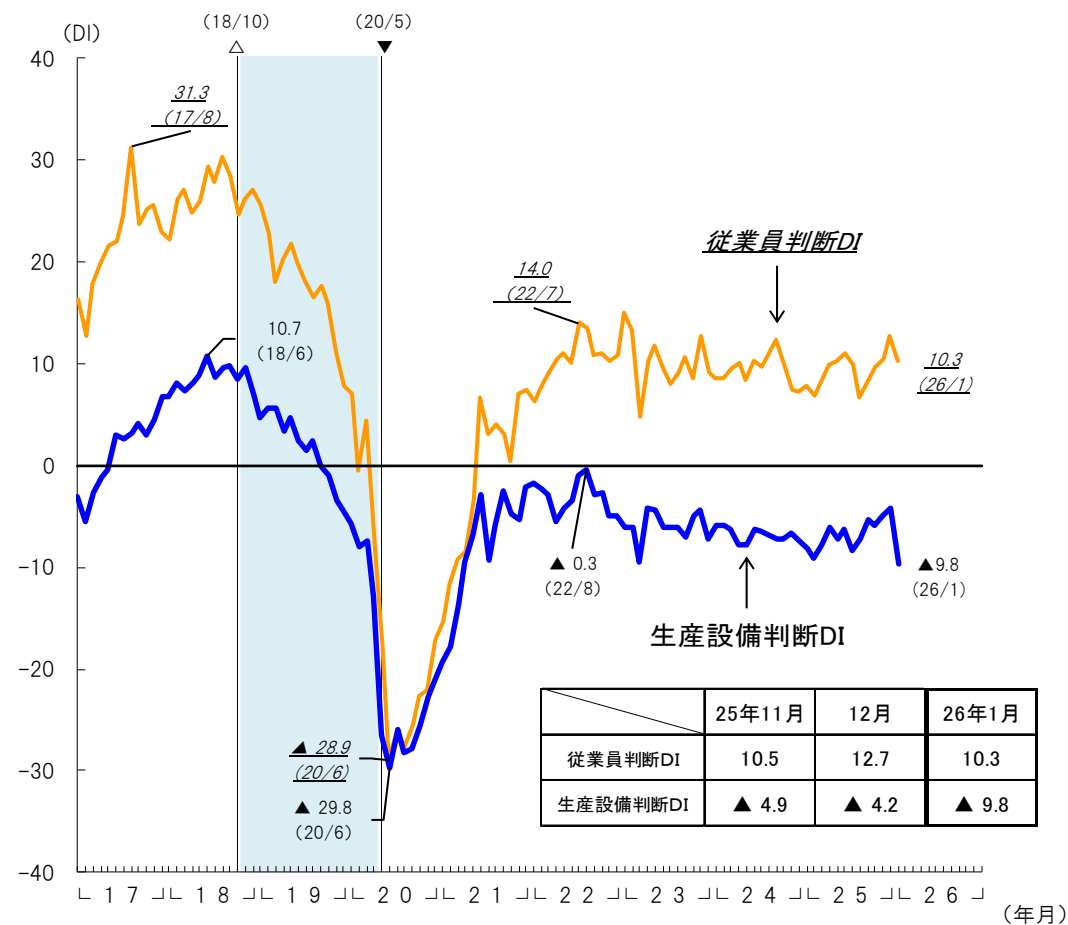
- 販売価格DI(「上昇」－「低下」)は、12月から1.8ポイント上昇し、10.0となった。
- 仕入価格DI(「上昇」－「低下」)は、12月から1.9ポイント低下し、20.8となった。
- 従業員判断DI(「不足」－「過剰」)は、12月から2.4ポイント低下し、10.3となった。
- 生産設備判断DI(「不足」－「過剰」)は、12月からマイナス幅が5.6ポイント拡大し、▲9.8となった。

図－3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」－「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」－「低下」企業割合。

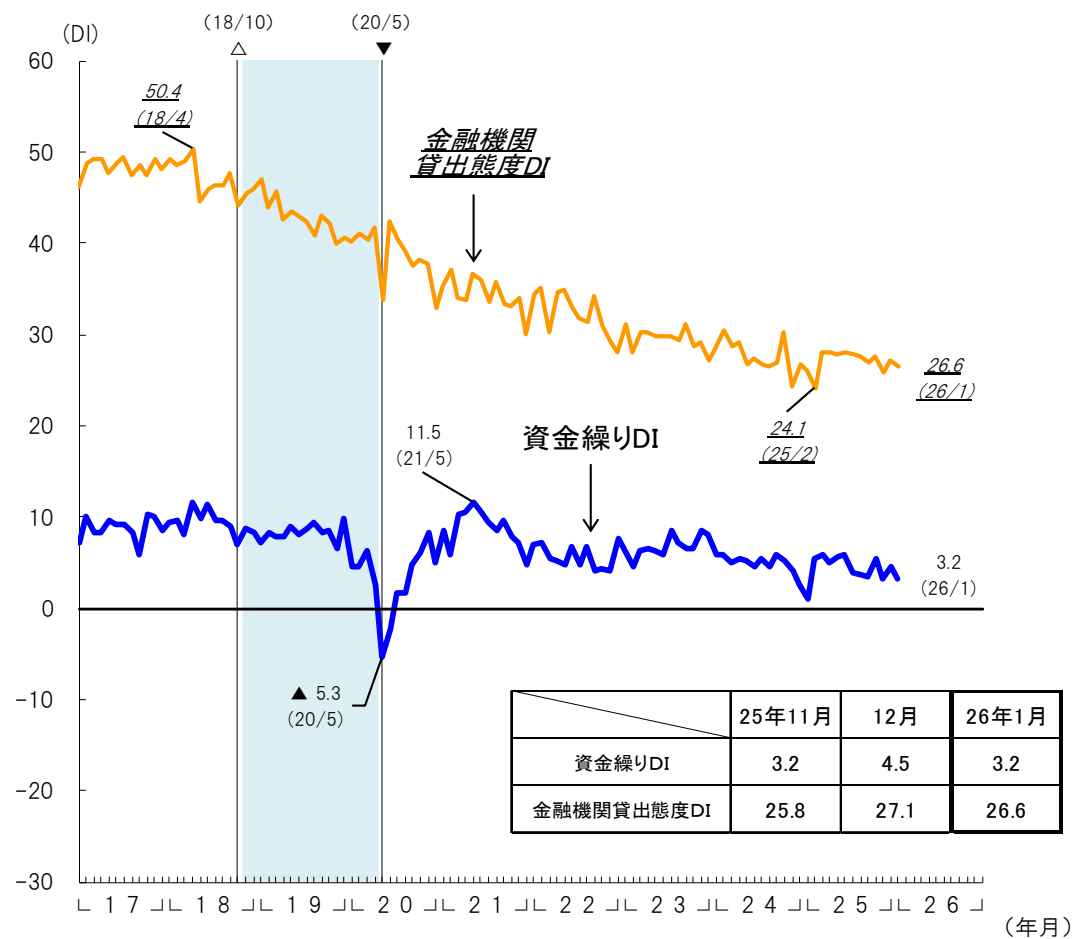
図－4 従業員状況、生産設備の判断



(注) 1 製造業の数値。
2 従業員判断DIは「不足」－「過剰」企業割合(季節調整値)。
3 生産設備判断DIは「不足」－「過剰」企業割合(季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」－「窮屈」)は、12月から1.3ポイント低下し、3.2となった。
- 金融機関貸出態度DI(「緩和」－「厳しい」)は、12月から0.5ポイント低下し、26.6となった。

図－5 資金繰り状況、金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」－「窮屈」企業割合(季節調整値)。
2 金融機関貸出態度DIは「緩和」－「厳しい」企業割合。